

社会調査法 社会福祉調査法

第5回
2016年5月11日

質問の順序(pp.52-53)

1. 質問順の案作成(流れ)
2. 各質問の質問方法・回答方法の決定
 1. SA、MA、記述式など
3. 言葉遣いを決める
4. 各質問の回答カテゴリ案作成、質問文作成
5. 回答方法の指示文案作成
6. レイアウト案
7. 挨拶状(調査依頼状)
8. プリテスト
9. 見直し・問題点改善
10. アンケート票のレイアウトの決定
11. 印刷

質問順序(pp.54-55)

1. 個人属性を先に
2. 時系列順
3. 難しい質問は後で
4. 答えにくい質問の後で
 1. 年収、学歴

質問のタイプ・回答のタイプ(pp.56-57)

1. 質問のタイプ
 1. 自由回答型
 2. プリコード型質問
 3. プリコード付自由回答型質問
2. 回答のタイプ
 1. 自由回答
 1. 二項選択式回答
 2. 多項選択式回答
 1. SA、MA

尺度

定性データの尺度(pp.58-59)

1. 名義尺度
 1. 性別など 例) 1. 男性 2. 女性
2. 順序尺度
 1. ランキング 例) 1位. カツ丼、2位. 牛丼
 1. 順序の間隔に意味はない
 1. カツ丼と牛丼をほとんど同じくらい好きかもしれないし、牛丼がまったく好きでないかもしれない

定性データ 数字に意味がない

定量データの尺度(pp.60-61)

1. 間隔尺度
 1. 満足度 例) 1. とても満足, 2. やや満足
2. 比例尺度
 1. 年収

定量データ: 数字に意味があるもの

態度をはかるものさし(pp.62-63)

1. カテゴリー尺度
2. 極カテゴリー尺度
3. 両極尺度・単極尺度
4. バランス尺度・アンバランス尺度
5. 強制選択尺度
6. 相対評価尺度

詳しくはテキストp.63の図を参照